

小野田・楠企業団地に 藤和工業株式会社の進出が決定

SCENE 1



写真左から、藤田剛二市長、野崎洋司代表取締役、矢敷健治県商工労働部長

小 野田・楠企業団地へ藤和工業株式会社の進出が決定し、2月12日、市役所で進出協定調印式が行われました。同社は平成4年(1992年)に佐賀県で創業し、平成25年(2013年)に本社を広島県三原市に設立。鉄骨製品の部材加工や付属金物の製作といった事業を展開しています。当団地への進出は、さらなる事業拡大に対応するため、本市に山口工場を新設するものです。操業開始は9月を予定しています。なお、当団地への企業進出は7社目となりました。

■藤和工業株式会社

〈本 社〉広島県三原市沼田西町
 惣定 900 番地
 〈代表者〉野崎 洋司

SCENE 2

一年の幸せを願う 有帆片山地区の「百万遍念仏」

江 戸時代末期から約150年、一度も欠かすことなく受け継がれてきた伝承行事「百万遍念仏」が2月16日、有帆片山地区の当屋宅で営まれました。地区住民約40人が読経と子どもが叩く太鼓にあわせ、長さ10m、大小333個の玉からなる大数珠を回し、今年一年の幸せを願いました。



SCENE 3

消防団中継送水訓練 消防団同士の連携を確認

小 野田消防署で、2月17日、消防職員と消防団13分団が参加した中継送水訓練を実施しました。これは水源から遠い場所で起きた火災を消火するために行う訓練です。団員は防火水そうから吸い上げた水を次の分団のポンプ車へホースで送水。有事の際の連携を確認しました。